

授業概要

科目名		作業療法評価学実習Ⅲ①			授業の種類	実習	講師名					
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ												
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										教科書、資料	
2	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）										教科書、資料	
3	脊髄損傷の評価										教科書、資料	
4	脊髄損傷の評価										教科書、資料	
5	上肢の末梢神経損傷の評価										教科書、資料	
6	上肢の末梢神経損傷の評価										教科書、資料	
7	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価										教科書、資料	
8	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価										教科書、資料	
9	摂食・嚥下障害の評価										教科書、資料	
10	摂食・嚥下障害の評価										教科書、資料	
11	神経系疾患の評価										教科書、資料	
12	神経系疾患の評価										教科書、資料	
13	内部障害の評価										教科書、資料	
14	内部障害の評価										教科書、資料	
15	OSCE 1 脈拍と血圧測定①										教科書、資料	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学 3 版 能登真一 医学書院 PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版												
【準備学習・時間外学習】 当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 評価学は筆記試験50点、 OSCEは筆記試験15点、実技試験35点の50点、合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												

授業概要

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ②					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ												
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる												
回数	講義内容										準備物(教材)	
16	OSCE 2 Brunstrom Recovery Stage（上肢）①										教科書、資料	
17	OSCE 2 Brunstrom Recovery Stage（上肢）②										教科書、資料	
18	OSCE 2 Brunstrom Recovery Stage（上肢）③										教科書、資料	
19	OSCE 3 筋力測定（MMT）①										教科書、資料	
20	OSCE 3 筋力測定（MMT）②										教科書、資料	
21	OSCE 4 運動失調検査①										教科書、資料	
22	OSCE 4 運動失調検査②										教科書、資料	
23	OSCE 5 まとめ										教科書、資料	
</												